

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年5月10日

計画の名称	扶桑町における水環境改善の推進					
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		交付対象	扶桑町		
計画の目標	公共下水道（污水）の整備を推進し、家庭や事業所の汚水を適切に排除し、快適な生活環境の確保と河川等の水質保全を図る。					
計画の成果目標（定量的指標）	下水道処理人口普及率を26.9%（H21末）から、36.7%（H27末）に増加させる。					
定量的指標の定義及び算定式	① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)			
	26.9%	32.7%	36.7%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	531百万円	A	531百万円	B	C
						効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 扶桑町都市整備課（下水道グループ）において事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討した。	事後評価の実施時期 平成28年度 公表の方法 町公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											全体事業費 (百万円)	備考					
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名			事業実施期間（年度）				
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	扶桑5-1、8号污水幹線	推進工法L=613.6m開削工法L=432m	扶桑町						176	
A-2	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	扶桑第1・2・5・7-1・7-2・8処理分区面整備	開削工法 L=13,256.8m	扶桑町						301	
A-3	下水道	一般	扶桑町	直接	扶桑町	污水	新設	実施設計（扶桑第5処理分区）	設計区域面積 A=15.8ha	扶桑町						8	
											合計	485					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27		
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・扶桑第1、2、5、7-1、7-2、8処理分区の管きょ整備を行うことにより、下水道処理人口普及率が向上し、家庭や事業所の汚水が適切に排除され、快適な生活環境の確保と河川等の公共用水域の水質保全が、図られた。									
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道処理人口普及率)	最終目標値	36.7%	目標値と実績値に差が出た要因	計画区域内の整備が一部完了しなかったことに伴い目標の下水道処理人口普及率に達しなかった。						
		最終実績値	36.4%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		河川の水質調査の結果、冬期のBOD、COD数値が、異常値を除けば低下傾向であった。									

3. 特記事項(今後の方針等)

・人口密度が高い下水道未整備の市街化区域を優先して管きょ整備を進め、下水道の効率的な普及促進を図る。